

私の留学体験記

広島県立河内高等学校 2年 吉田 賢人（よしだ けん）

留学期間 令和元年11月19日 ～ 令和元年11月25日（7日間）

留学先 新北市立金山高級中學（新北市，台湾）

今回、私が台湾の金山高級中學に行き行って思ったことは、英語がとても大切だということです。私が行った金山高級中學や、その周りの店、観光地、ホームステイ先などでは、ほとんどが中国語で話をしており、書かれている言葉も全く理解できず困りました。金山高級中學の先生や生徒、ホストファミリーが英語で話してくれたことは、多少ですが理解ができました。しかし、いざ自分が話そうとすると英単語が思い浮かばなかったり、発音や文法の間違いで全く違う意味で伝わったりと、とても苦労しました。最終的には、翻訳アプリを見せることでしか伝わらないことも多くありました。言葉に出して会話したいのにそれができないことに対しての苛立ちや悔しい気持ちがいっぱいでした。

台湾の授業はどれもレベルが高く、また生徒の自主的な行動で進む授業が自分には新鮮でとても面白かったです。特に英語の授業は先生の元気がよく、海外にはこんな先生がいるのだなと思いました。

私は英語の勉強がとても嫌いでした。いつかやれば大丈夫だろうとずっと思っていました。しかし、金山高級中學に行き行って毎日英語だけを聞いていると、段々と英語を使って話してみたいと思うようになりました。その時、嫌いなことを後回しにしていたら自分が困るということに気づくことができました。相手に気持ちを伝えることができないことが、こんなに面白くないとは思いませんでした。そんな気持ちにならないためにも、今は英語をできるようになりたいです。まずは毎日の授業から大事にし、ただ書くのではなく、理解をしながら覚えることに力を入れて、半年後に金山高級中學から来る人たちと英語で会話をしたいと思います。

また、今回の研修への参加には、母親の一言が背中を押してくれました。海外に行き行ってみたいという気持ちはありましたが、今ではなくてもいいと思っていました。しかし、今は心の底から「行ってよかった。」と思います。海外に無関心だった私が、この経験を通して海外に興味を持つようになりました。だからこそ体験が大切だと思いました。

これからは、嫌いなことでも目を背けずに興味を持ち行動に移し、すべての経験を将来に繋げていきたいと考えています。



※ ホストファミリー



※ 金山高級中學のクラスメイト